

「福井県教育振興基本計画（令和2～6年度）」の進捗について

1 令和5年度 of 取組状況

方針1：学ぶ喜びを知り、自ら進んで学ぶ意欲と力の育成

- 児童生徒の理系分野への興味関心を高め、理系人材を育成するため、「**小学生向けサイエンスショー**」や「**算数なぞとき教室**」、「**中学生向けの理系分野に関するキャリア教育**」を開催（R5～）〔義務教育課〕
- 理数教育を推進し、理系人材を育成するために、「**ふくい Girls 未来のテックリーダー**」プロジェクトを実施。**科学者・技術者を目指す女子生徒32名**がグローバルIT企業の訪問およびプログラミング講座を受講する**首都圏研修**に参加（R5～）〔高校教育課〕
- 「**引き出す・楽しむ教育**」を推進するため、**各小中学校が重点的に取り組むテーマを設定し実践**するとともに、教員、関係機関による意見交換会、テーマに応じた研修等を開催（R2～）〔義務教育課〕
- **福井県学校教育DX推進計画**に基づく、新たなデジタル時代に対応した学びの変革と教員の働き方改革の実現に向けて、**全教員対象の講演会**を開催。**県立学校に生成AIの利用環境**を整備（R5～）〔教育政策課〕
- **学校教育DXにかかる地域・学校間格差を解消**するため、広域的な課題解決に向けた協議や技術情報の共有を行うとともに、**ICT教育サポートセンターを開設**。**学校・教員に対するDX進捗状況調査**（年2回）等による定期的に評価を実施（R5～）〔教育政策課、教職員課〕
- 全小中学校の約2割の**47校をICT教育推進モデル校に指定**。**デジタル教科書を1教科導入し、情報交換会および公開授業**を実施。（R5～）〔義務教育課〕
- 4月に**丸岡高校において酸素カプセルを整備**。スポーツ探究コースの生徒60名全員が体験するとともに、**疲労回復・怪我の回復・集中力の効果などについて探究学習**を実施（R5～）〔高校教育課〕
- **併設型中高一貫教育校である高志中学校**において、生徒の興味関心を引き出すための**大学訪問や校外学習**を実施するとともに、**連携型中高一貫教育校**において、**高校教員によるチームティーチング**による授業や**外部講師による探究学習の支援**を実施（R5～）〔高校教育課〕

- 高校生の探究的な学びの支援を充実させるため、**合同発表会（高校生探究フォーラム）**を県内3会場で開催するとともに、**探究系全国大会に挑戦**する生徒4件、**活動資金を獲得するクラウドファンディング**の申請3件を支援（R5～）
〔高校教育課〕
- 令和6年度入試において**地域みらい留学**2期生として**若狭高校6名、丸岡高校5名の合格者**を選考。更なる県外生徒受入れのため、**若狭高校の寮を整備**するとともに、丸岡高校と若狭高校の寮整備について民間提案型による契約を締結（R4～）
〔高校教育課、教育政策課〕
- 勝山市教育委員会と勝山高校が勝山市立中学校再編準備委員会等において**中高連携の具体的な方策を検討**するとともに、勝山市立中学校による勝山高校敷地内での**共同利用に向けた施設整備**について、勝山市との検討会を定期実施（R5～）
〔高校教育課、教育政策課〕
- 武生商工高校の令和7年度の1キャンパス化に向け、2階建の**体育館と新商業棟の新設に着工**するとともに、**管理・普通教棟改修に着工**（R4～）
〔高校教育課、教育政策課〕
- 地域産業の担い手育成を目的とした、文部科学省の「**マイスター・ハイスクール**」事業において、**民間人教頭を招聘**し新技術やDX等の産業構造の変化に対応した職業人材育成と魅力あるカリキュラムを実施。**地域の企業やまちづくり団体と連携した加工食品の開発・販売等**を実施（R4～）
〔高校教育課〕
- 大学進学サポートセンターにおいて、生徒の進路志望に合わせた**集合型補習を学年ごとに実施**。また、**オンライン学習会**等を教科別に合計58回実施し、延べ269名が参加（R2～）
〔高校教育課〕

方針2：適性や興味関心に応じた文化芸術、スポーツ活動の促進

- 令和6年度に開催される**第44回近畿高等学校総合文化祭福井大会**の実施に向けて、教員・生徒による**先催県大会（三重県）の視察**を実施するとともに、**大会テーマ、ポスター原画、イメージソングを決定**（R5～）
〔高校教育課〕
- トップアスリートを目指す小学5・6年生59人を対象にアスリート育成プログラムを提供する「**ふくいジュニアアスリートアカデミー**」を開催。うち3名が新しい競技を開始（R2～）
〔スポーツ課〕

方針3：豊かな心、健やかな体の育成

- 児童生徒の豊かな感性・創造性と、教員の鑑賞力・指導力の育成のため、「**福井県俳句創作コンクール**」を開催。小中高校から 8,038 句の応募。(R4～)
〔義務教育課〕
- **休日の部活動の段階的な地域移行**について、休日に活動する約 770 部活動のうち、約 4 分の 1 に当たる 189 部活動が地域に移行 (R4～)
〔保健体育課、義務教育課〕
- 学校歯科医の適切な指導の下で、教員の業務負担とならない適切な「**フッ化物洗口**」の実施方法を、学校・保護者・児童に説明会を行い、モデル校 6 市町 10 校の小学校において約 1000 人を対象に検証。(R5～)
〔保健体育課〕

方針4：国際的な視野に立ち、自らの考えを発信する力の育成

- 文部科学省をはじめ新たな協賛・後援を受け、6～8月に「**全国高校生プレゼン甲子園**」を開催。地域ブロック大会を導入し、616 チーム (県内 353、県外 263)、97 校 (県内 23、県外 74) が参加。(R3～)
〔高校教育課〕
- 高校生が海外の大学生と交流する「**オンライングローバルキャンプ**」を、3月に4日間の日程 (25～28日) で実施し、12 名が参加 (R5～)
〔高校教育課〕
- 受験料を全額補助し、**GTEC を中学3年生 6,450 名が受験**。結果分析を行い、生徒の英語力・学習意欲の向上と教員の授業改善のため、動画を配信するとともに、県内 5 ブロックにて研修を開催。各校の英語科教員 1 名以上が参加。
(H28～R1：英語検定、R2～：GTEC)
〔義務教育課〕

方針5：特性や心情に配慮し、誰もが安心して学べる教育環境の整備

- **不登校の児童生徒の社会的自立や集団への適応を支援**するため、不登校児童生徒の多い小学校 3 校および中学校 2 校に支援員を配置 (R4～)
〔義務教育課〕
- 嶺南教育事務所指導主事とろう学校教員が連携して、**嶺南地区聴覚障がい児に対する教育相談**を年間 130 回実施するとともに、**嶺南地域の教員を対象とした言語聴覚士による研修会**を年間 12 回実施 (R4～)
〔高校教育課〕

- **遠隔ロボットやVRゴーグルを活用**により、病気療養中や発達障がい等のある**児童生徒の学習環境の改善や教育効果の向上**を図る。関係学校や市町教育委員会向けの説明会や研修等を行うとともに、対象児童生徒の授業等で計 72 回の使用実績や成果等を蓄積・分析（R4～）
〔高校教育課〕
- **外国人児童生徒等教育連絡協議会**を年 3 回実施し計 94 名が参加。小学校 4 件、中学校 5 件に対して**日本語指導アドバイザーによる相談支援**を実施（R4～）
〔義務教育課〕

方針 6：ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成

- 児童生徒が自らの地域を探究し、地域の魅力を発信する活動を推進するため、「**福井ふるさと教育フェスタ**」を開催。ふるさと学習の展示・発表や関連事業の優秀作品や入賞者を表彰（R1～）
〔義務教育課〕
- 「**ふるさと福井CMコンテスト**」を開催し、74 校が応募、**CM作成講習会**に 1142 名が参加。「**ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会**」は中学生に拡充して開催し 79 校が応募。「**ふるさとの学び特別賞**」として小中学校計 14 校を表彰（R3～、「ふるさとの学び特別賞」は R4～）
〔義務教育課〕
- 10/28, 29 に県内 6 会場にて**全国産業教育フェア**を開催。延べ 25,000 人超が参加し、各会場のライブ配信は 15,000 回を超える視聴。**全国高校生ビジネスアイデアコンテスト**は全国から 89 チームがエントリー（R5～）
〔高校教育課〕
- 職業系高校において、地域の産業や企業について学ぶ**本県独自の共通科目「ふくい産業」**を 16 回実施。プレゼンテーションにおける**デジタル資料作成や発表技法等を学ぶ「デジタル教育講座」**を 5 回実施。これらの教材動画をアーカイブ化し、動画をデジタル教材として活用（R3～）
〔高校教育課〕
- 文化財修理の適切な実施と、所有者応援の体制を構築する「**福井の文化財を未来へプロジェクト**」を開始。**技術者向け研修会**に計 58 人が参加。敦賀市西福寺と福井市大安禅寺で**文化財をデジタルアートで演出するイベント**を開催し、延べ約 850 人が参加（R5～）
〔生涯学習・文化財課〕

方針 7：生涯にわたる学びの支援

- **SDGs**の目標に向けて、**地域清掃や環境学習、世代間交流事業**を各団体（海洋少年団、壮年団、子ども会、ガールスカウト、ボーイスカウト、「小さな親切」運動）が実施し、22 件・約 1400 人が参加（R3～）
〔生涯学習・文化財課〕

方針 8 : 新たな時代を見据えた教育環境の整備

- 校務全般におけるDXの推進、学校運営支援員や部活動指導員の配置・増員、県教委が行う学校への調査の見直し、スクールロイヤーの体制整備等により、**教員の一層の業務改善**を推進 (R2～) [教職員課]
- 令和5年度の全教職員に占める**月 80 時間以上の超過勤務者**の割合は、昨年度 0.7% から **0.4%に減少**、同じく**月 45 時間以内の超過勤務者**は昨年度 64.7%から **69.1%に向上** (R2～) [教職員課]
- 教員志願者を確保するため**教員採用選考試験を見直し**、講師等5年以上の経験者の第1次選考を免除 (利用者 56 名)、大学3年時から第1次選考を受験可能 (志願者 168 名)、東京会場での第1次選考 (利用者 51 名) 等を実施 (R5～) [教職員課]
- 子どもとの関わり方を学びあうための**親のまなびあいの場「親はぴトーク」**を9回開催し80名が参加。7月に保護者対象の研修会を開催し25名が参加 (R4～) [義務教育課]
- **県立学校の大規模改修工事**について、設計3校 (金津、勝山 (体育館)、敦賀工業) と工事3校 (三国、武生、武生商工) が完了 (R4～) [教育政策課]

2 令和6年度の主な取組予定

方針1：学ぶ喜びを知り、自ら進んで学ぶ意欲と力の育成

- **「小学生向けサイエンスショー」や「中学生向けの理系分野に関するキャリア教育」、「理科授業担当教員向けの実験講習会」**を通して、児童生徒の理系分野への興味関心を高め、理系人材を育成 [義務教育課]
- **理数教育を推進し、理系人材を育成するために、「ふくい Girls 未来のテックリーダー」プロジェクトを実施。科学者・技術者を目指す女子生徒約50名がグローバルIT企業の訪問およびプログラミング講座を受講する首都圏研修**に参加 [高校教育課]
- **「引き出す教育・楽しむ教育」を推進**するため、各小中学校が**重点的に取り組むテーマを設定し実践**するとともに、**取組に応じた講演や研修**を開催 [義務教育課]
- **ICT教育推進モデル校を指定し、デジタル教科書を1教科導入**することで、タブレット端末の活用を通して、児童生徒の主体的な学びや個別最適な学びを実現するとともに、教員の授業づくりを支援し、実践事例等を全県の学校に共有 [義務教育課]
- 新デジタル等成長分野を支える人材育成のため、県立高校9校が文部科学省の「DXハイスクール」事業の採択を受け、**ICTを活用した文理横断的な探究的な学び**を強化するための環境を整備 [教育政策課、高校教育課]
- **各県立高校における探究的な学習を推進**させるため、昨年度に引き続き**高校生探究フォーラムを全県的に開催し、講演会についてはオンデマンド配信**で生徒や教員がいつでも閲覧できる体制を構築するなど、校内における探究活動の支援を強化。また、**クラウドファンディングや探究系全国大会の積極的な活用、参加を推進**し探究力向上を促進 [高校教育課]
- **併設型中高一貫教育校である高志中学校は、京都府立洛北高校・中学校と探究活動の交流**をし、意見交換や共同研究を実施。また**県内大学や研究機関の協力のもと、大学の教官や本物の資料等に触れ、課題研究の深化を支援**。連携型中高一貫教育においては、各学校が、中学生と高校生の異学年交流を進める等**中学から高校へと繋がる探究学習の内容について検討**し、主体的に計画、実践 [高校教育課]
- **若狭高校、丸岡高校において地域みらい留学による全国募集**を行い、県外から入学する生徒の客観的な視点を生かした、地域や学校の課題解決に向けた探究活動を促進。また、**令和7年度から全国募集を開始する勝山高校**における受入れ態勢について調整。さらに、**丸岡高校や美方高校において寮を整備**するとともに、**民間資金等を活用した勝山高校の寮整備を検討** [高校教育課、保健体育課、教育政策課]

- 大学進学サポートセンターにおいて、生徒の進路志望に合わせて**集合型補習、オンライン相談**および**個別添削指導**を実施するとともに、**学習動画コンテンツ**を整備
〔高校教育課〕
- **勝山市立中学校による勝山高校敷地内での共同利用**に向け、勝山市内での中高連携の具体的な方策を検討するとともに、**特別教棟の大規模改修工事の設計**を進め、**体育館の改修工事**を実施
〔高校教育課、教育政策課〕
- **武生商工高校の令和7年度の1キャンパス化**に向け、**2階建の体育館と新商業棟の新設**のほか、図書室や職員室の拡充、女子トイレの整備を含む**本棟などの大規模改修工事**を実施
〔高校教育課、教育政策課〕

方針2：適性や興味関心に応じた文化芸術、スポーツ活動の促進

- 新**アートディレクター 戸田正寿氏**を講師に招き、中学生・高校生を対象とした**美術研修会**を実施。生徒の感性を高め、表現力を向上
〔義務教育課〕
- 新**第44回近畿高等学校総合文化祭福井大会**を生徒主体で開催し、生徒実行委員会を中心に総合開会行事や各部門の企画運営、ポスター、チラシの作成などをする中で、伝統文化の継承や新しい芸術文化の創造を促進
〔高校教育課〕
- 「**ふくいジュニアアスリートアカデミー**」を開催し、五輪選手とのディスカッション等の知識・運動能力を高めるプログラムや10競技の体験プログラムなど、アスリート育成プログラムを提供
〔スポーツ課〕

方針3：豊かな心、健やかな体の育成

- **福井県中学生ビブリオバトル**を開催することで、読書活動を通して様々な分野への知的好奇心を高めるとともに、多様な価値観に触れながら、思考力、表現力、聴く力等の向上
〔義務教育課〕
- 小学校において推奨図書を活用し**ブックトーク**等の読書活動の取組を行うとともに、児童を対象とした読書活動推進のためのワークショップ等を実施
〔生涯学習・文化財課〕
- 新タブレット端末を活用し、学校でも家庭でも自分の運動記録を入力できる「**はぴりゅうスポーツ広場**」サイトを運用することにより、児童が**自ら運動に取り組む意欲を引き出し**、運動習慣の定着
〔保健体育課〕

方針4：国際的な視野に立ち、自らの考えを発信する力の育成

- 中学3年生の**外部検定試験の受験料を全額補助**し、その結果分析を行い、生徒の学習と教員の指導を改善
〔義務教育課〕

- 高校生の実践的で高い英語コミュニケーション力を育成するため、「**高校生英語ディベート大会**」や、職業系高校での「**オンライン英会話**」等を実施
〔高校教育課〕
- 広い国際的な視野に立ち異文化理解を深めるため、**ドイツや中国の海外友好提携都市への訪問や交流**を実施
〔高校教育課〕
- 高校生が論理的思考力、表現力、創造力等を発揮し、総合的なプレゼンテーション力を競う「**全国高校生プレゼン甲子園**」を、文部科学省等の後援を受け全国に広く周知し、さらに協賛・後援を募りながら、内容や規模を充実して開催
〔高校教育課〕

方針 5：特性や心情に配慮し、誰もが安心して学べる教育環境の整備

- 不登校の児童生徒を支援するため、**校内に教室とは別の居場所をつくり支援員を配置する校内サポートルーム支援員事業**を県内 50 校（小学校 25 校、中学校 25 校）で実施
〔義務教育課〕
- 義務教育を実質的に受ける機会がなかった方、外国籍の方等に対して、義務教育の機会を保障するための**夜間中学の令和 8 年度開校**に向けた準備
〔義務教育課〕
- 障害の有無に関係なく、児童生徒が同じ場所で継続的に一緒に教育を受ける機会を保障するため、**インクルーシブな学校運営のモデル事業**を実施（清水特別支援学校、地域の小中学校）
〔高校教育課〕
- 嶺南東特別支援学校とろう学校教員が連携して、**嶺南地区聴覚障がい児に対する教育相談**を実施するとともに、**嶺南地域の教員を対象とした言語聴覚士による研修会**を実施
〔高校教育課〕
- **遠隔ロボットや学習用 VR ゴーグル**の活用範囲を拡大し、好事例について情報収集するとともに関係学校や市町教育委員会と共有
〔高校教育課〕

方針 6：ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成

- 児童生徒が自らの地域を探究し、地域の魅力を発信する活動を推進するため、「**ふるさと福井 CM コンテスト**」や「**ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会**」を開催するほか、「**ふるさとの学び特別賞**」の表彰を実施し、これらの活動の発表の場として「**福井ふるさと教育フェスタ**」を開催
〔義務教育課〕

- 地域の産業界と職業系高校の連携体制構築を目的とした**文部科学省の「マイスター・ハイスクール普及促進」事業**において、坂井高校と武生商工高校を拠点校とし、**産業界等との連携体制を活用した教育活動をすべての職業系高校**において実施
〔高校教育課〕
- 文化財修理現場で、**小中学生向けおよび高校生・一般向けの見学会や文化財をデジタルアートで演出するイベント**を開催し、文化財の魅力を発信
〔生涯学習・文化財課〕

方針 7：生涯にわたる学びの支援

- 新青少年教育施設を活用し**首都圏と県内の子どもたちの交流事業**を実施し、子どもの自主性・協調性を育成
〔生涯学習・文化財課〕
- 地域づくりに関わる人材の育成や社会教育団体の活性化のため、**社会教育関係団体が公民館等と連携して行う SDGs の理念に沿った活動等**を支援
〔生涯学習・文化財課〕

方針 8：新たな時代を見据えた教育環境の整備

- 新嶺南地域の教育振興および新たな志願者の確保のため、教員採用選考試験における**嶺南採用枠創設**に向け、県内大学と連携しながら検討
〔教職員課〕
- GKG ニュースによる優良事例の横展開、インスタグラム開設、校務全般におけるDXの推進、小学校高学年における教科担任制の拡大、外部人材の活用促進、日課表の見直し等、教員の一層の業務改善に取り組み、**超過勤務時間が月 80 時間以上の教員ゼロを維持**することを原則に、**月 45 時間以内、年 360 時間以内の教員の割合を向上**
〔教職員課〕
- 新小中学校における**タブレット端末の計画的な更新**のため、**福井県公立学校情報機器整備基金を設置**するとともに、市町教育委員会と連携して共同調達を実施
〔教育政策課〕
- 新令和 7 年度からの**県立学校におけるタブレット端末の計画的な更新**のため、**整備方針を決定**するとともに、これからの学びに最適な**タブレット端末の選定**を実施
〔教育政策課〕
- 新**県立学校において、学習系と校務系のネットワークを統合**するとともに、どこからでも安全に接続できるよう、教員向けの情報ネットワーク環境を更新
〔教育政策課〕